

## がん領域への取り組みについて

### ■ オプジーボの適応がん腫の拡大に向けて

昨年9月に世界に先駆けて国内で発売しました抗悪性腫瘍剤のオプジーボは、その後12月に米国、本年3月に韓国、さらに6月には欧州で、悪性黒色腫を対象に承認を取得しました。また、世界的にも患者さんが多く、死亡率が高いといわれている肺がんにおいても、肺扁平上皮がんについて本年3月に米国、7月には欧州で承認取得。さらに10月には米国で非扁平上皮非小細胞肺がんにつ

いて承認を取得しました。国内においても、本年4月に肺扁平上皮がん承認申請を行い、7月には非扁平上皮非小細胞肺がんを含めた非小細胞肺がんについて承認申請を行いました。現在、腎細胞がん、頭頸部がん、胃がん、食道がんなどへの適応追加を目指し臨床試験を推進しています。



### ■ 営業本部における新組織体制について ————— 執行役員 営業本部長 松本 憲佳

当社はこれまで、疾患領域別の営業体制をとったことはありませんでしたが、当社として初の抗がん剤オプジーボを昨年上市したことを機に、オンコロジー領域を専門に担当する新組織を立ち上げました。この新組織は、がん領域という特殊性と、それに対する高い専門性が医薬情報担当者(MR)に



求められること、さらには従来当社が扱ってきた薬剤に比べ、より安全性に関する情報提供や情報収集が重要になることなどを考慮したものです。そして本年10月にはオンコロジー営業部を新設し、その組織下に全国10営業所を配置しました。これはオプジーボの非小細胞肺がんなどへの適応拡大を見据えたものです。オンコロジー領域の専門MRは当初の約30名から、即戦力となるキャリア採用も積極的に行いながら現在は約180名にまで増員し、新組織体制を整えました。今後もオンコロジー領域においては、がん腫の拡大を見据えた適切な人員配置を行い、正確かつ迅速な情報提供と情報収集に取り組んでいきます。